

平成 29 年度第 2 回佐世保市地域公共交通活性化協議会 議事録

場所：佐世保市役所 13 階 庁議室

時間：平成 29 年 11 月 27 日（月）10:00～11:30

（事務局：福井）

定刻となりましたので、ただいまから平成 29 年度第 2 回佐世保市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。私は、本協議会事務局で佐世保市地域交通課の福井と申します。進行役を務めさせていただきますのでよろしく願いいたします。

協議会の開催にあたり、会の成立要件の確認ですが、協議会規約第 7 条第 2 項に「構成員の過半数以上の出席により成立する」とあります。本日は、委員 21 名のうち、代理出席も含めて 19 名のご出席を頂き、協議会の成立要件を満たしていることをご報告いたします。

また、委員のご就任のお知らせをいたします。長崎県立佐世保商業高等学校校長であります、中園様です。平成 28 年度までは佐世保実業高校の内山委員に通学の視点から利用者代表としてご参加いただいておりますが、ご退職により、今回、中園委員にご就任をお願いしたところ、快くお引き受け頂きました。ありがとうございます。佐世保市内の学校の中で、路線バスの定期券利用者の割合が最も多く、かつ鉄道の利用も多い佐世保商業高校から委員就任をお願いすることを、前回の協議会でご報告したところでございました。今後ともよろしく願いいたします。

それから、本日、ご欠席とはなられておりますが、本協議会のオブザーバーとして佐々町の企画財政課長の今道様が、迎様に代わりご参加頂くようになりましたので、ご報告させていただきます。

本日の議題でございますが、お手元の会次第にありますように、本協議会でご協議頂き策定しました「地域公共交通網形成計画」の進捗状況についてでございます。

それから、「バス運行体制一体化に向けた協議の進捗状況」と「地域公共交通再編実施計画作成」について、ご報告させて頂くこととしております。特にバス運行体制一体化に関しては、12 月から 1 月にかけて住民説明会を実施する予定としておりますので、その内容についてみなさまにご説明させていただきます。

今後の協議を進める上でのご意見、アドバイス等を頂きたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げます。

なお、本日の会議は、協議会規約第 7 条第 4 条に基づき、公開とさせていただきたいと思っておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

それでは協議会を開催するにあたって、はじめに本協議会の会長である佐世保市の朝長市長がご挨拶申し上げます。

(朝長市長)

本日はお忙しい中にも関わらず、平成 29 年度第 2 回佐世保市地域公共交通活性化協議会へご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、日頃から本市の市政推進へのご理解とご協力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

現在、佐世保市におきましては、これまでの協議会の調査検討を経て、市の方針として交通局を廃止し、させばバスが一部路線の受託運行を行い、西肥自動車に路線を集約することを表明し、バス事業者さんと市において、具体的な協議を進めている状況です。

本年 7 月に開催しました第 1 回協議会では、協議スケジュールやバス路線のいくつかの考え方をお示しさせて頂きましたが、今回は、その後の協議の進捗状況やバス再編に向けた具体的な計画である地域公共交通再編実施計画がどのようなものになるのか、現時点での状況についての報告があるということです。

さらに、同様の内容については、12 月から 1 月にかけて、佐世保市主催で住民説明会が開催される予定です。これは、バス事業者さんもお参加されます。

つきましては、住民説明会に臨むにあたって、現時点の内容について、協議会からのご意見やご助言を頂いたうえで進めることが肝要であると考えておりますので、忌憚のないご意見を頂きますようお願いいたします。

結びとなりますが、委員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして、本日のご挨拶といたします。

(事務局：福井)

ありがとうございました。それでは、ここからは朝長会長に進行をお願いしたいと思います。朝長会長、よろしく申し上げます。

(朝長会長)

ここからは私が議事の進行をさせていただきます。お手元の会次第に沿って進めてまいります。

まずは会次第の 3 つ目でございますが、本日の議題として、

(1) 地域公共交通網形成計画の進捗状況について

となっております。

本協議会でご協議頂き策定しました形成計画については、施策がどのように進んでいるのか、進捗状況を把握して頂き、協議会としても推進を図る必要があるかと思っておりますので、事務局から説明をお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。今の説明に、特に交通事業者様からの補足説明等があれば、お願いします。

(西肥自動車：川口委員)

鉄道とバスの連携による利便性向上策ということで、10月1日ダイヤ改正を実施いたしました。佐々バスセンターにおける9便の改正を行い、松浦鉄道佐々駅の15便に対する接続改善を実施し、主に世知原方面の連絡を行いました。ベビーカーの乗車環境については、7月24日に「子育て支援団体ママパパ」さんとの乗車検証を行い、固定ベルトの購入取り付けを準備中ですが、来期初めには34台に設置したいと考えております。さらにノンステップバスの増車を検討しております。佐世保市内に195台運行しておりますが、3、4台に1台30%がノンステップバス比率ですので、35年度までには6割程度のノンステップバスを導入したいと思っております。まずは34台取り付けをさせていただきたいと思っております。

(朝長会長)

ありがとうございました。

それではご不明な点や確認したい点等ございませんでしょうか。

推進を図る上でのご意見、アドバイス、新たな事業の提案等もありましたら、よろしく願います。

(子育て支援団体ママパパ代表：吉田委員)

お手元に配らせていただきましたママパパの情報誌の2ページをご覧ください。事務局の説明にもありましたが、7月24日に西肥バス東部営業所に2組の親子と私と行ってまいりました。この情報誌は9月に発行しましたが、この記事に大変反響があり、ベビーカーをバスに乗せていいのか、邪魔になるので申し訳ない、ベビーカーを持ってバスに乗った際にひどい扱いをされたことがあるという声など、いろんな反応がありました。佐世保市と民間の西肥バスが子育て中の私たちの声を聞いていただいたという安心感がありました。このひとつの記事だけでも成果があったのではないかと思います。

佐世保市は福祉や子育てに優しい街であるということで、転勤族も多く、県外から来られた方はそういう印象を持たれています。しかし、福祉の世代間不平等があります。高齢者には厚く育て世代には薄いという声が多くあるのが現状です。バスの運賃の不公平さの解消というのも一つの意見ですが、まずは、西肥バスが私たちの声を形にしてくださる、しかもスムーズにいただいたというのが、私たち子育て世代の安心感につながったと思います。ありがとうございました。

(朝長会長)

ありがとうございました。他にございませんか。

(長崎県立大学：鶴指委員)

ベビーカーのステッカーを貼るという施策について、3点ほど意見をさせていただきたいと思っております。

まずこの施策は、子育ての方々を安心させる上で有効な施策であり、今までベビーカーを使

うときは自動車を使っていた方々が公共交通を利用する可能性が考えられ、非常にいい施策だと思います。

細かいことですが、本日バスに乗ってまいりましたが、バス停でバスを待っていたら、何かの都合なのか、待っているところでバスが停まってくれませんでした。待っているところを通り過ぎて前の方で停まったり、ポールや柱が立っている位置に停まるということがあります。こういう場合はベビーカーでは乗れないし、一般の方も乗りにくいと思います。そういうことも含めて考えていただきたいと思います。

ベビーカーをセットするのは誰がするのか、セットが終わるまで運転手がきちんと停車して待ってくれるのか、安全確認をしたうえで発車してくれるのかということがあります。

ベビーカー対応車がいつ来るか分からない、情報がないということになると利用者にとって利便性がないこととなります。あらかじめどのバスがベビーカー対応の車両なのか、運用の都合もあり難しいかもしれませんが、時刻表で分かるようにするとか、当日ホームページで確認できるようにするなど情報提供ができるかどうかお伺いしたいと思います。

(朝長会長)

今3点ございました。1点目はバス停の停車位置について、2点目はベビーカーセット後のドライバーの安全確認の件、3点目はベビーカー対応車両の運行予定確認についてお答えいただければと思います。

(事務局：中西)

先に事務局として分かる範囲でお答えして、その後バス事業者より補足をお願いしたいと思います。

まず2点目のベビーカーを誰がセットして、その間停車していただけるのかということについては、お母さま方にセットしていただき、その間停車していただくことはもちろんのこととっておりますので、バス事業者にもお願いしたいとっております。

3点目の、ベビーカー対応のバスがいつ来るのかということについては、ノンステップバスと同様の運用になると思いますが、ある時刻のダイヤに毎回ベビーカー対応の車両が来るものではないとお伺いしておりますので、何時頃どのバスがベビーカー対応の車両なのか問い合わせはできるとのことなので、その広報をお母さま方に積極的にしていただき、市としても広報していきます。当日ホームページで確認することができるようになるのか、事業者で補足していただきたいと思います。1点目のバス停での停車位置についても補足していただければと思います。よろしくお願いいたします。

(朝長会長)

バス事業者から補足があればお願いします。

(西肥自動車：川口委員)

安全運転が第一でございますので、ベビーカーをセットされている間は発進しないというの

はもちろんのことです。

（西肥自動車：中塚委員）

現在の運用では、同じバスが同じダイヤに毎日来るわけではないものですから、来ると明示した場合、万が一車両の運用がずれた際にお客様にとってもご迷惑をおかけするものですから、現状ではなかなか難しいということでございます。しかし、当然お客様にとってもお分かりになった方が便利だと思しますので、この先車両が増えていった場合、今後の運用で進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

（西肥自動車：川口委員）

バス停で並んで停車した場合は、少しずれて停車する場合もあるかもしれません。

（交通局：田崎委員）

基本的にはバス停と乗降口が合うように停めるようにしておりますが、バスが連なった場合お互い譲り合って停車位置をずらすことがありますので、歩行者の安全策としてガードパイプを付けておりますが、そことの整合がうまく合っていない場合もございます。

バスの車両指定ということもございますが、体力があればバスロケーションシステムというこの時間帯はどのバスが運行しています、どのバスがベビーカー対応車両なのか、ハード的ソフト的に対応が可能ですが、体力的な面で追いついておりません。

（長崎県交通運輸産業労働組合協議会：野原委員）

労働者として、運転する側として一言申し上げます。バス停関係の整備も行っていただきたいと思えます。どのバス停もベビーカーが乗られるようになっているのでしょうか。バス停の整備を行わないとなかなか先に進まないのではないかと思います。朝夕は5、6台のバスが並びます。その時には乗降客の乗る場所も必要になります。周辺を含めた整備も行っていかなければならないと思えます。労働者側の関係も生まれてきますので、内部で協議する必要が出てくると思えます。

（事務局：中西）

バス停付近部分につきましては、車いすやベビーカーに関わらず公安委員会の皆様と意見交換をしながら、バス事業者からの要望を優先的に少しずつ改良していただいている動きもこの協議会で実際行っています。お母さま方と話をしたところ、外出する時間帯は朝のラッシュ時を避けるということも考えているというお話をいただきました。車いすの方の移動もベビーカーと同じような状況が見て取れると思えますので、利用ができるバス停の広報など、まずはそういういったことに力を入れて徐々に広げていくことができればと考えております。

（子育て支援団体ママパパ代表：吉田委員）

市民としては新しいシステムができることにあって、マナー啓発も同時に行っていかなければ

ればならないと思っております。ノンステップバスのスロープは車いすの方のためにあるということすら知らなかった市民の方が多くいらっしゃいました。それも一緒に啓発することも大切だと思います。これから高齢化社会になり、子育て世代は介護をする世代にもなりますので、一緒にマナー啓発をしていきたいと思っております。

(朝長会長)

前向きのお言葉をいただきまして、ありがとうございます。

他にございませんか。

他にございませんようですので、次の報告事項へ移らせていただきます。1つ目のバス運行体制一体化に向けた協議の進捗状況についての説明を事務局及び交通局からお願いします。

※事務局・交通局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございます。ただいま交通局と事務局から説明がありましたが、ご不明な点や確認したい点等ございませんか。住民説明会で分かりやすい説明にするためのアドバイス等ありましたらよろしくをお願いします。

(佐世保商業高等学校：中園委員)

一言申し上げさせていただきます。定期券のことですが、共通の定期券は非常にありがたいと思っております。私は矢峰に住んでおりますが、バス停で待っている生徒も、見えてバスが来たのに乗車せずに待っている生徒がおり、あとで生徒に聞いたところ、定期券が違うと聞いたことがあります。共通定期券は非常にありがたいと考えます。それが進めばバスの本数も減らすことができると思っております。

また、相浦、日野方面の中学校を訪問した時に、うちの学校へ多くの生徒を送ってくださいとお願いするのですが、ある校長先生から、なかなかバスがないですね、と言われました。これが可能かどうか分かりませんが、通勤通学時間帯だけでも構いませんので、相浦、日野方面から当校方面あるいは大野方面へバスを運行していただければありがたいです。外回り内回りのような、相浦、日野方面から市街地を通過して当校に来る、またその逆に相浦、日野方面から当校を通過して市街地へ行くなどの循環バスがあれば非常にありがたいと思っております。ご検討をよろしくお願いいたします。

(朝長会長)

今コメントできますか。

(交通局：田崎委員)

課題として検討させていただきます。

(西肥自動車：川口委員)

これから行う住民説明会では、利便性向上に伴うサービス向上策をお話しさせていただこうと考えております。共通定期券や、別事業者間での乗り継ぎでも両方利用できるように、具体的に申しますと、高梨から長崎空港まで行く場合、佐世保駅で乗り継いで行かれています、1600 円を 1520 円にして 5%削減などメリットがあります。佐世保市内の窓口は西肥バスが 5 か所、市営バスが 4 か所、9 か所全てで全路線の定期券の購入ができるようになり利便性が上がります。バリアフリーについては先ほど申された通りです。

また、長崎県バス協会で計画していますが、スマートカードが老朽化しているということで、国土交通省の補助金等を活用しながら、全国共通カード nimoca を導入します。10 社中 7 社導入予定です。そうすると現在積み増しが 9 か所しかできませんが、コンビニでもできるようになります。商業施設や JR でも利用でき、日本全国で利用できるのも利便性が向上します。そういうところをアピールしていきたいと思っておりますし、ご利用いただくお客様に今まで以上にサービス面で向上します、路線の維持は必ずいたしますと説明をさせていただこうと思っております。当社の体力の話が出た場合はもちろん説明いたしますし、全国のバス事業、都市部を除いて 8 割が赤字ですが、補助金をいただいて黒字になり、西肥バスのバス部門、乗合バスだけでも黒字と体力がついてきておりますので、質問があれば経営体力の話もしようと思っております。

(朝長会長)

ありがとうございました。

今、西肥バスからもお話をいただきましたが、ご質問等ございませんか。

(九州運輸局交通政策部交通政策課：鈴木オブザーバー)

住民説明会の資料を拝見させていただきました、大きくは再編を行う必要性の話、そして、いかに地域の方にメリットがあるか、と大きく 2 軸あると思います。ダイヤ設定で、団子にならないように等間隔で運行します、定期券が共通化されますという話がありますが、実はこれは競合区間を利用している方は嬉しいと思いますが、非競合区間を利用している人たちはあまりそういうメリットは享受しにくいのではないかと思います。そういった方にも路線を分かりやすい路線に見直しますとか、利用実態に合った便を運行しますなど、そういったことも含めて進めてことが住民説明会や、今後の検討の中で重要になってくると思いますので意見として述べさせていただきました。

(朝長会長)

ありがとうございました。

事務局、意見として受け止めてよろしいですか。

(事務局：中西)

説明の際に念頭に置いて説明したいと思います。

(朝長会長)

他にございませんか。

それでは、次の報告事項として、地域公共交通再編実施計画作成について、説明を事務局からお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。本日の内容は、まださわりの部分のみではありますが、国へ相談しながら進めているとのことでありました。本日はオブザーバーとして国からもご参加いただいておりますので、それぞれのお立場から補足説明やこれから作業が進んでいく中でのアドバイス等、あらわれましたらお願いしたいと思います。

まずは九州運輸局交通政策部交通企画課鈴木課長から再編実施計画についてご教授頂ければと思います。

(九州運輸局交通政策部交通企画課：鈴木オブザーバー)

再編実施計画につきましては、先般から佐世保市と西肥バスと市交通局にもお越しいただいて、支局も交えて打ち合わせを進めさせていただいておりますので、引き続きこのような形で進めていきたいと思っております。法律に基づいた形でうまく行くようにアドバイスさせていただきますので、引き続きよろしく申し上げます。

一点お伺いしたいのが、立地適正化のスケジュールについては、前回の議事録では 31、32 年度となっておりましたが、そちらのスケジュールで何か変化はございますか。今の交通の多面的ニーズのネットワークを構築すると言っている中で、他の計画や他の部署との連携も非常に重要視しております。仮に立地適正化計画があった場合には、網形成計画に反映して、それを再編実施計画の方にも反映する、と文言上は書いてありますが、無ければ無いでもいいのですが、あればいいなと思ったので、もしスケジュール感があれば再度確認させていただきたいと思っております。

(佐世保市都市整備部：田中委員)

現在、立地適正化計画につきましては、事例と都市計画マスタープランの見直しと合わせまして検討の可能性の調査を行っております。基本的に立地適正化の策定に入るのは 31 年度以降を予定しております。

(朝長会長)

それでは長崎運輸支局高田支局長にお願いします。運行体制一体化に向けて事業者としてのさまざまな手続きも、事前相談をしっかりと頂き、漏れがないようにお願いしたいと思いますので、ご教授をお願いします。

(九州運輸局長崎運輸支局：高田オブザーバー)

再編実施計画及びバス運行一体化に向けた体制等、これまでも打ち合わせをさせていただいておりますので、引き続き打ち合わせをさせていただきながらスムーズに運行体制が移行できるように進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

(朝長会長)

ありがとうございました。

今、国からもご説明いただきました。今後ご指導をいただきながら進めていくこととなりますが、皆様方の中にさらにご不明な点や質問等がありましたらお願いします。

《質問等なし》

(朝長会長)

無いようでしたら本日の会議を終了いたします。

これから年度末にかけて、今回のバス運行体制一体化の目的である効率的なダイヤ編成作業が大詰めに入ると思います。運転士不足という問題はありますが、佐世保市もバス事業者も全力を尽くして利用者の利便性確保に努めることが肝要であると思います。

その他、さまざまな場面で本協議会を始め、国県、関係機関の方々のご支援が必要になってくるものと思いますので、その節はよろしくお願いいたします。

それでは本日はお忙しい中ご参加いただきましてありがとうございました。

私から事務局へお返しいたします。

(事務局：福井)

皆様大変お疲れ様でした。

これをもちまして本日の平成 29 年度第 2 回佐世保市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

(終 了)